



令和2年度
「大津市景観重要広告物」
「きら★と大津景観広告賞」

第18回
「きら★と大津景観絵画展」
作品集



目次

◇市長あいさつ 大津市長 佐藤 健司	1
「大津市景観重要広告物」「きらッと大津景観広告賞」	
◇選考を終えて 選考委員長 石川 亮	3
◇令和2年度対象地域について	4
◇大津市景観重要広告物	5
指定第14号 中井呉服店	7
指定第15号 Mobil Oil	8
◇きらッと大津景観広告賞	9
大津市長賞 ALEX COSMETIC Anjin	11
滋賀県広告美術協同組合理事長賞 浪乃音醸造元	12
きらッと賞 たつおか整体院	13

「きらッと大津景観絵画展」

◇大津市長賞 6 点 16

◇選考委員長賞 2 点 22

◇大津市景観審議会賞 4 点 23

◇優秀賞 30 点 24

◇その他応募作品

 きらッと部門 28

 未来部門 : 68

優良屋外広告物顕彰制度及びきらッと大津景観絵画展

市長あいさつ

大津市長 佐藤 健司



大津市は、平成 15 年 10 月に古都として指定を受けてから、古都にふさわしい景観のまちづくりに努め、名実ともに「古都」として、広くその価値を認められるようになりました。その美しい風土は、市民の誇りであり、また、訪れる人々を魅了するものとなっています。

さて、本市では、平成 21 年度に屋外広告物条例を制定して以来、市民・事業者・行政の協働によって地道に取り組んできた違反広告物対策により、すっきりとしたまちなみの形成に成果を上げています。

一方、大津のまちなみにふさわしい屋外広告物の保全と新たな創造を図ることを願い、平成 22 年度から「優良屋外広告物顕彰制度」を実施して参りました。

今年度は、堅田地域を対象とし、歴史文化を色濃く残しつつ、人々で賑う都市的な魅力を併せ持つ、堅田のまちにふさわしい屋外広告物を選定することができました。

また、「きらッと大津景観絵画展」は、今年で 18 回目を迎えることができ、市民の方々にも広く知っていただくようになりました。応募総数は 556 点と、幅広い年齢層の方々から多くの作品が寄せられました。

各々の絵画からは、大津への深い愛着が感じられ、琵琶湖や山並みなどの自然景観はもちろんのこと、歴史ある社寺仏閣やまちなみ、都市の賑わいなど、多様な景観に恵まれている「大津らしさ」を改めて認識したところです。今後も、古都大津のかけがえのない景観を未来へと引き継ぐため、市民の皆様と共々に取り組んで参ります。

最後になりましたが、御応募いただいた皆様、指定・受賞を受けていただいた方々、選考委員の皆様、ワークショップに御協力いただいた大学関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

「大津市景観重要広告物」

「きらッと大津景観広告賞」

選考を終えて

選考委員長 石川 亮
(美術家・成安造形大学芸術学部准教授)



令和2年度のきらッと大津景観広告賞は、学生が選ぶきらッと賞1点を含めて受賞が3点、大津市景観重要広告物の指定は2点が選ばれました。選定地域の対象となった堅田地域は琵琶湖西部、南湖と北湖を分ける対岸が極めて近い場所に位置し、海上交通、陸路の結節点でもあることから古くから栄えた町です。

JR堅田駅から琵琶湖岸へと伸びる道を軸線として、琵琶湖大橋とつながる国道477号線までの北エリアは、県道558号線沿いを中心に近年マンションが立つなど発展を続ける賑やかな場所です。対して軸線より南は学校、居住地が並ぶ落ち着いた場所、北部地域文化センター前を通る仰木道までを南エリアとしました。また、近江八景の一つ「堅田の落雁」で知られる景勝地・満月寺浮御堂がある湖岸エリアを設定しました。ここは湖と対岸の山並みを借景として望める天然図画亭や堅田漁港を中心とする瓦屋根が並ぶ景観が美しい場所であり、冬には浜に出てふりかえると「比良の暮雪」を仰ぎ見ることができます。この様に堅田は新旧に富む景観を望める地域と言えるでしょう。

きらッと大津景観広告賞のきらッと賞を受賞した広告物は、舟板を利活用したものが選定されました。学生によって選ばれたその理由に、看板の背後に浮御堂の山門が見えていたことがあります。他にも舟板を使用した看板は多くみられ、景観を構成する要素として評価は高かったですし、この他、壁面に描かれた街角風景の広告は見る人を楽しみ気持ちにさせ、景観広告表現の新たな可能性を感じました。

対照的に杉玉と木製引き戸のガラス面に書かれた造り酒屋の広告は、文化と歴史を伝えていると言えます。

大津市景観重要広告物については、製作から概ね25年という指定基準を優に超える90年以上の看板が確認できました。一つは、大津市中心市街地などでも見ることができる軒先に掲げられた看板で、無垢の板材に屋号名を彫り込み彩色され、書家の落款が見えます。この地域が自ら繁栄してきた力量を伝えているように感じられました。

もう一つは、当初はきらッと大津景観広告賞からの推薦で上がったもので、玄関上部に現在も丁寧に掲げられた看板は瑠璃製で大手燃料ブランドのデザインが施されています。選考委員全員が「これはっ！」と驚き、現場にて直接確認すると、疑う余地もなく見事な状態で設置されていました。所有者には、看板にとどまらず、この地域が発展する過程を記す資料などを見せていただくことができ、その心は看板をきっかけに地域の発展と地域の持続を支える精神が伝わってきました。

グローバル社会へと変わりゆく最中、今日のトレンドやニーズに押し流されることなく守るべきもの、受け継ぐべき精神が大事に扱われる看板に宿っているように感じました。屋号ではなくブランド名が入った看板が新たに加わり、大津市における景観重要広告物の新たな概念が生まれた瞬間と言えます。この他、堅田地域を歩いていると生活と馴染んだ広告(看板)を目にすること、一方ひっそりとではあるが以前からそこにあったかの様に景観に入り込んだ新たな広告(看板)も見られました。それは堅田の歴史性に敬意を払いつつ、この地を次代へ繋げる希望が景観の中に芽生えているように感じました。

令和2年度 対象地域に ついて

今年度の対象地域は、堅田地域（JR堅田駅周辺から浮御堂、出島灯台を含む琵琶湖岸周辺まで）です。

堅田は平安時代末期から江戸時代にかけて、琵琶湖最大の自治都市が築かれた所で「堅田千軒」や「諸浦の親郷」と呼ばれました。

豊かな堅田には、美しい風光に魅せられ、新田義貞、芭蕉など、各時代のヒーロー・ヒロインが往来しました。

今もまちのそこかしには、激動の時代に夢を馳せた人々の名残をとどめる史跡が息づいており、大津市の豊かな歴史を未来に継承する上で重要な地域です。

 対象地域



大津市景観重要広告物

大津の素晴らしい景観は、長い歴史の間に積み重ねられた人々の営みがあり、形成されてきたものです。現在も大津のまちなかには、人々の生活の中から生まれ、独特の歴史を感じさせる古い看板類が大切に残され、地域の景観の象徴となっています。長年にわたり地域の皆さんに親しまれ、大津の景観の一部となってきた看板等の屋外広告物が、将来にわたって保全・継承されることを願い「大津市景観重要広告物」を指定しております。

これまでの指定

第1次指定（平成22年度）

JR大津駅前から浜大津に至る「中心市街地活性化基本計画区域」内で5件を指定しました。



第1号

八百与



第2号

元祖 阪本屋耐寿司



第3号

鶴里堂



第4号

御饅頭處 餅兵



第5号

石田歯科醫院

第2次指定（平成25年度）

古都指定10周年を記念して歴史的風土特別保存地区の中心から半径1km圏内の区域（中心市街地活性化基本計画区域内を除く）で3件を指定しました。



第6号

本家 鶴荘そば



第7号

日吉そば



第8号

茶丈藤村

第3次指定

草津市との景観連携の一環として、JR石山駅から草津市との行政界までの東海道沿道（沿道500m圏内を含む）を対象地域としました。



第9号

容輝湯



第10号

油清商店



第11号

にしよ呉服店

第4次指定（平成29年度）

京阪膳所駅から京阪粟津駅までの東海道を中心とした膳所地域で、2件を指定しました。



第12号

亀屋廣房



第13号

馬杉湖魚店



令和2年度指定広告物

- 中井呉服店
- Mobiloil

指定基準

大津市屋外広告物条例に適合する屋外広告物のうち、次の各号のいずれにも該当するもの。

- 1 製作後概ね25年を経過しているもの
- 2 歴史的なまちなみ景観に寄与しているもの
- 3 再現することが容易でないもの
- 4 造形の優れているもの

選考委員

選考委員長

成安造形大学芸術学部准教授 石川 亮

選考委員

滋賀県広告美術協同組合理事長 和田 光平

建築士・大津市景観審議会委員 千葉 薫

大津市歴史博物館副館長 木津 勝

(順不同・敬称略)

指定年月日

令和2年11月28日（土）

通知書交付式及びパネル展示

■交付式

令和2年11月28日（土）

大津市役所 別館1階大会議室

(「きらっと大津景観絵画展」表彰式と同時開催)

■パネル展示

令和2年11月29日（日）～12月8日（火）

Oh!Me 大津テラス 6階フードコート前

選考会

令和2年10月2日（金）

現地調査を行う広告物を選定するための書類調査を行いました。

令和2年10月16日（金）

現地調査を行ったうえで、指定広告物の選考を行いました。



中井呉服店



- 広告物の種類：ひさし看板
- 大きさ：縦 90cm × 横 355cm（概寸）
- 製作年代：大正末期
- 所在地：大津市本堅田二丁目 12-3
- 指定年月日：令和 2 年 11 月 28 日
- 広告主：中井 康博
- 店名：中井呉服店



歴史的なまちなみに調和した町家の店舗の壁面に、大正時代の末期から設置された看板です。嘉永六年の創業以来、古い信用と新しい品をモットーに営まれてきた店舗と、まちの賑わいを感じられます。素材には、十分な厚みのある大きな一枚板が使われており、看板と一体となった庇も、当時の職人が呉服屋さんということを考えて、やわらかい雰囲気を出すべく工夫されたと思われるデザインとなっています。文字の彫りも素晴らしく、店舗に風格を添えるだけでなく、これぞ堅田地域の景観をつくっていると言っても過言ではない看板と言えます。





Mobiloil



- 広告物の種類：ひさし看板
- 大 き さ：縦 58cm×横 240cm（概寸）
- 製 作 年 代：昭和初期（不詳）
- 所 在 地：大津市本堅田三丁目 5-5
- 指 定 年 月 日：令和 2 年 11 月 28 日
- 広 告 主：藤本 譲
- 店 名：Mobiloil
（藤本石油株式会社）



堅田本通り商店街を琵琶湖に向けて歩くと、誰もが目を惹きつけられる看板で、90年以上前から、堅田地域の人々に親しまれてきた看板と言えます。歴史的なまちなみに調和しているだけでなく、Mobiloilのロゴが、「古き良き」を体現しているようで、地域の誇りとも言える、とても温かみを感じるものと言えます。長い時間をかけて、大切に守られてきたもの、それは、店主のMobiloilに対する強い想いであり、それが現在の形となって、非常に美しい状態で保存されています。



きらッと大津景観広告賞

大津市では、屋外広告物を景観形成の大きな要素として扱い、まちの景観づくりの方針や周辺環境に調和した屋外広告物の掲出による、景観の保全と形成を進めています。そこで、先導的な役割を担う良好な広告物を選定、顕彰することで、「良好な広告物による良好な景観づくり」を目指したいと考え、まちなみに調和した優れたデザインの広告物を選考し「きらッと大津景観広告賞」として表彰しています。

これまでの受賞

平成 22 年度

中心市街地である大津駅前から浜大津にかけての一带（中心市街地活性化基本計画区域）を対象として以下の5点を選考しました。

■ 突出広告物部門



和風アンティークカフェ
喜一郎

■ のれん・ちょうちん部門



大津 魚忠

■ ひさし看板部門



藤屋内匠

■ 壁面広告物部門



ふゆーちゃ

■ きらッと賞



柴山商店

平成 26 年度

大津市と草津市が合同で大学生のワークショップによる選考会を開催。大津市においては、東海道を含むJR石山駅周辺及びJR瀬田駅周辺の2つを対象地域とし、大学生が以下の2点を選考しました。

■ きらッと賞



でんや



神戸屋洋服店

平成 29 年度

京阪膳所駅から京阪粟津駅までの東海道を中心とした膳所地域で、2件を指定しました。

■ 大津市長賞



おくすえ整骨鍼灸院

■ 滋賀県広告美術協同組合理事長賞



ギャルソン

■きらッと賞



よりみちパン

今年度の受賞作品

■大津市長賞

ALEX COSMETIC Anjin

■滋賀県広告美術協同組合理事長賞

浪乃音醸造元

■きらッと賞

たつおか整体院

選考基準

- 企業や店舗などの特徴を優れたデザインで表現したもの
- 広告物自体の形態、意匠、素材などが優れているもの
- 建物、周辺景観やまちなみと調和し、修景効果が十分に発揮されているもの

選考経過

■募集

令和2年7月17日(金)～9月3日(木)

■令和2年9月17日(木)

成安造形大学の学生たちが、優良屋外広告物の調査を行い、対象地域の中で最もデザインの優れた広告物を大学生の目線で選考し、「きらッと賞」として選びました。



ワークショップへの協力

石川 亮 (成安造形大学芸術学部准教授)

和田光平 (滋賀県広告美術協同組合理事長)

(順不同・敬称略)

■選考会

令和2年10月2日(金)

現地調査を行う広告物を選考するための書類調査を行いました。

令和2年10月16日(金)

現地調査を行ったうえで、受賞広告物の選考を行いました。



■選考委員

選考委員長

成安造形大学芸術学部准教授 石川 亮

選考委員

滋賀県広告美術協同組合理事長 和田 光平

建築士・大津市景観審議会委員 千葉 薫

大津市歴史博物館副館長 木津 勝

(順不同・敬称略)

表彰式およびパネル展示

■表彰式

令和2年11月28日(土)

大津市役所 別館1階大会議室

(「きらッと大津景観絵画展」と同時開催)

■パネル展示

令和2年11月29日(日)～12月8日(火)

Oh!Me 大津テラス6階フードコート前



ALEX COSMETIC Anjin



- 所在地：大津市本堅田三丁目 29-22
- 広告主：野上 みさお
- 店名：Alex cosmetic japan

店舗の壁面に、妖精が覗き込む窓も丸窓もリアルに描かれ、それらのイラストと繋がるように全体が構成されており、一つの絵画を見ているような気分になります。「美しき妖精でさえ興味をひかれる程のエステティックサロン」といったストーリーも想像出来ることでしょう。

まちなかアートのような、まちの価値を高める見事なサインであり、また、現場でしか味わえないトリックアートの面白味もあって、まさに、きらっとした広告物と言えます。





浪乃音醸造元



- 所在地：大津市本堅田一丁目 7-16
- 広告主：中井 孝
- 店名：浪乃音酒造株式会社

店舗は、杉玉を中心として、とびらが左右対称になっている建物で、1枚ガラスの引き戸の木の枠組みが、おもむきのある雰囲気を醸し出しています。また、味のある美しい筆跡が白一色で表現されており、とびらの2面ともに同じロゴを入れることで木の枠組みとあいまってシンメトリーなサインとして、独特な空間を見事に演出しています。モダンな雰囲気がまちなみ景観をつくっているだけでなく、ガラス面に表現するサインが幾重にも積み重なった酒造の歴史性を伝えていると言えます。





たつおか整体院



- 所在地：大津市本堅田一丁目 16-11
- 広告主：立岡 正成
- 店名：たつおか整体院

大学生によるワークショップを開催し、実際にまちを歩いて、デザインの光る広告物を探し出し、「きらッと賞」として学生たちが選考した作品です。

湖族の郷資料館の前を浮御堂方面へ歩くと、歴史的なまちなみの一角に構えられた風情のある整体院。その木製の看板は、船板を用いて施されており、水運のまち堅田で船の行き来があったことを思わせるものです。石畳風の道路とその先の浮御堂を望む風景の中で、主張しすぎない看板のしつらえが、まちなみと調和した素敵な景観を演出していると言えます。



きらッと賞を選定した大学生によるワークショップ

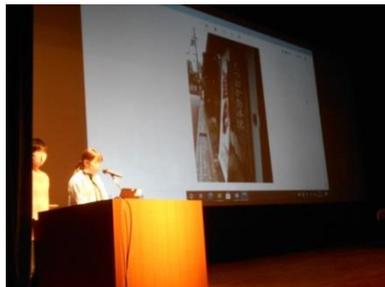
令和2年9月17日、優良屋外広告物顕彰制度の一環として、成安造形大学の学生による優良屋外広告物の調査を行いました。対象の堅田地域を歩いて現地調査を行った後、「屋外広告物」についての講習を受講しました。その後、探し出した屋外広告物の写真を持ち寄って参加者全員でワークショップを行い、最もデザインの優れた広告物1点を大学生の視点で「きらッと賞」として選出しました。



■日時：令和2年9月17日（木）
9：30～17：00

■場所：北部地域文化センター

■内容：フィールドワーク、講習会
ワークショップ



●講習会

屋外広告物について

滋賀県広告美術協同組合

和田光平理事長

●協力

成安造形大学